

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
海外研修Ⅰ（ハワイ） Overseas StudiesⅠ		1年・2年	集中（前期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	（旅行実務ユニット ホテル・ブライダルユニット グローバルツーリズムユニット）	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論 ブライダル概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
伊藤優子		2階	水曜日・木曜日	授業中に指示します
授業の概要				
海外旅行の心得を学び、研修先の社会生活およびサービス産業に関する学習を重ねる。ハワイは観光産業が盛んな場所なので、観光、ブライダル、ホテル業など現地の仕事やその役割を実践的に学ぶ。				
授業の目標				
①ハワイでの観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができるようにする。 ②観光産業に関わる旅行業、ホテル、ブライダルの仕事の流れを学習し、現場に出た時に活かせることができるようにする。 ③グローバルな感覚を身につけ、観光産業の現場で実践的に活用することができるようにする。				
授業の方法				
事前指導の中で英会話や国際的マナー、出入国に関する法令などを確認し、現地で滞在中、観光産業の現場を研修する。				
学習の成果（学習成果）				
①ハワイでの観光産業の現状を把握し、日本の観光産業に役立つことを考えることができる。 ②観光産業に関わる旅行業、ホテル、ブライダルの仕事の流れを理解し、現場に出た時に活かせることができる。 ③グローバルな感覚を身につけ、観光産業の現場で実践的に活用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（研修概要・渡航手続き・研修先での諸注意）			
第2回目	目的地の環境・歴史・文化・経済等の概略			
第3回目	渡航手続き トラベル英会話			
第4回目	異文化の違いについて			
第5回目	渡航手続き トラベル英会話			
第6回目	渡航手続き 国際マナー			

第7回目	出国までの流れ	
第8回目	到着後～1日目の活動	
第9回目	2日目（ブライダル研修の流れ）	
第10回目	3日目（ホテル研修の流れ）	
第11回目	4日目（個人研修について）	
第12回目	出発～帰国までの流れ	
第13回目	ハワイのホテルについて	
第14回目	ハワイの観光の現状について	
第15回目	反省会　研修レポートの発表	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	事前指導を休まず、渡航手続きや出入国に関することを積極的に学ぶ。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	現地で学んだハワイにしかない観光産業の現状をきちんとレポートに書くこと。S評価の基準：課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。S=90-100
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	50%	ハワイにいる間、団体及びグループ行動の態度が良く、なんでも吸収しようという積極的な態度を示す努力をすること。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
教科書と参考図書		
プリントで対応		
履修上の留意点・ルール		
事前指導の曜日、時間は参加者が決まってから決定する。		